

永明中学校庭遺跡 発掘調査の成果

15日ギャラリートーク

文縄石尖
展報速で館考
野・尖石縄文
考古館ロビー

茅野市教育委員会が同市塚原の「永明中学校校庭遺跡」で行った発掘調査の成果を報告する速報展が、同市尖石縄文考古館ロビーで開かれてい

る。2022～23年度の調査成果から、多数発見された弥生時代後期の墓を紹介。つば2点、かめ1点の土器棺3点と説明パネルを展示してい

る。15日にはギャラリートークを開く。

同遺跡は弥生時代後期の集落遺跡。発掘調査は永明小学校と周

「永明中学校校庭遺跡」で発掘された土器棺を展示している速報展＝尖石縄文考古館ロビー

辺施設の建て替え事業に伴って行い、21年度の調査箇所では竪穴住居群などが確認された。22～23年度の調査箇所では、地面を掘った穴の中には、ぼやかめなどの大型の土器を納めた墓とみられる遺構を複数確認。21年度の調査で検出された「周溝墓」と併せ、遺跡全体の北側に「墓域を形成していたと考えられる」という成果が得られた。

22～23年度の調査では6カ所の墓坑が確認され、うち5カ所は土器棺墓、残りは石で周囲を囲った長方形の穴が発見された。展示した土器棺は、調理や貯蔵に使った土器を転用し、骨つばのように使用されたとみられる。

同館では「集落と墓地在セツトで見つかったことは大きな成果」とし、「今、多くの人が生活している街なかのすぐ下にも、大きな遺跡が眠っていることを知ってほしい」と来館を呼び掛けている。

9月3日まで。速報展の観覧は無料。ギャラリートークは15日午前10時、午後1時30分からの2回で参加無料。問い合わせは尖石縄文考古館（電話0266・76・2270）へ。（宮沢知史）